

# 施策の体系

住宅・建築物の耐震に関する施策とその体系を定めました。

2003年（平成15年）9月26日04時50分

## 北海道十勝沖地震

北海道十勝沖でM8.0の地震があり、新冠町、静内町、浦河町、釧路町、厚岸町などで最大震度6弱を観測した。この地震では大きな余震が頻発し、浦河で最大震度6弱を観測した。[死者1名、行方不明1名、負傷者849名、家屋の全壊116棟、半壊368棟など]



### 基本理念

地震災害に強い  
住宅・建築物の確保と、  
安全で安心なまちづくり

### 基本目標

#### 基本目標 1

災害避難拠点・  
特定建築物の  
耐震化の推進

#### 基本目標 2

地震に強い  
住宅・建築物  
の確保

### 基本施策

#### 基本施策 1

#### 災害避難拠点・特定建築物の耐震化の推進

- ① 災害避難拠点の確保
- ② 特定建築物の所有者の意識啓発
- ③ 北海道や関係団体との連携

#### 基本施策 2

#### 地震に強い住宅・建築物の確保

- ① 耐震改修に関する相談・情報提供体制の確保
- ② 耐震改修を促進する支援環境の確保
- ③ 耐震性能の住宅・建築物を取得しやすい環境づくり
- ④ 地震時に通行を確保すべき道路沿道の耐震性の確保
- ⑤ 地震被害に強い市街地整備、安全対策の推進

#### 基本施策 3

#### 耐震改修、地震防災に対する住民意識の啓発

- ① 地震情報の提供
- ② 地震防災対策のための意識啓発
- ③ 防災活動との連携

#### 基本施策 4

#### 耐震改修に係わる関連技術者の支援

- ① 耐震改修工法のための技術取得の支援
- ② 耐震改修を担う技術者の支援
- ③ 住宅リフォームとの連携

### 【耐震化の目標】

#### 耐震化の現況（平成19年度）

住宅

82.6%

町の  
公共施設※

37.5%

90%

#### 耐震化の目標（平成29年度）

※ 町の公共施設  
＝町の保有する、多数のものが利用する建築物  
第1号特定建築物の要件で、年次要件をはずしたのもの



### 震度5強 （計測震度） 5.0～5.5

人間：非常に恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。  
屋内：棚の食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビやタンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることがある。一部の戸が外れる。  
屋外：補強されていないブロック塀の多くが崩れる。据え付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。多くの壁石が倒れる。自動車の運転が困難となる。  
建築物：耐震性の低い住宅では、壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある。

人間：立っていることが困難になる。  
屋内：固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。  
屋外：かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。  
建築物：耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。

### 震度6弱 （計測震度） 5.5～6.0

